

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/isshinomaki/

石巻専修大学
広報係☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）30th
1989-2019
ISHINOMAKI SENSU University

汽水域の生物など10種捕獲

キャンパスの池で生態系初調査



赤い囲み内が調査した池。左側が旧北上川



捕獲した生物について高崎教授（左）の解説を聞く学生たち

キャンパス内の池の生態系を見てみよう。6月29日、理工学部環境学科と生物科学科の学生、学生サークル「生物愛好会」の会員合わせて25人が参加し、体育館西側にある池に生息している生物を初めて調査した。学生たちは高崎みつる理工学部教授の指導を受けながら10種類の生物を捕獲。また、池に棲む微生物、水草などの植物、水や泥といった食物連鎖を理解するための実験サンプルを採取した。調査した池は貯水や防火を目的とした深さ1メートルほどの遊水池で、一部が旧北上川とつながっている。多数の生物が生息している。学生たちは胸長を着用して池に入り、地引き網を用いて捕獲作業に取り組んだ。

確認した生物はコイ、フナ、タナゴなどの魚、ミドリガメ、スジナガエビやカニなど。淡水と海水が混じり合う汽水域に生息するマハゼやボラも見つかり、予想外の生態系が明らかになった。川原太地さん（理工3・宮城県多賀城高）は「この発見は衝撃だ。汽水の川である旧北上川とつながっていることで独自の生態系が構築されたのではなか。なぜマハゼが生

息できるのか調査していきたい」と話した。捕獲した生物は生物科学科の学生有志で透明骨格標本にする予定。標本作りのリーダーを務める丸山大地さん（理工3・

多様性をテーマに開放講座

開放センター（李東勲センター）が実施する「みやぎ県民大学 石巻専修大学開放講座」（6月6日～7月18日、全7回）が、本学キャンパスで開講されている。今年度は本学の創立30周年記

念事業の一環として開催し、「分断から融和へー多様性の理解ー」を統一テーマに、国、地域、言語による価値観の違いなどを本学の教員、元教員7人が解説する。

同講座は大学などの専門的な教育を地域社会に還元することを目的に宮城県教育委員会が主催。公益財団法人石巻地域高専教育事業団、石巻校舎も参考になり面白い」

7月18日の最終日には、全講師と受講者による交流会を予定。

「多様性について改めて



交流事業を振り返るベル教授の特別講演

交流5年

米メーコン大11人来学

ベル教授が特別講演

国際交流協定校であるランドルフ・メーコン大学（RMC、米国バリーニア州）の教職員と学生合わせて11人が来学した。一行は6月10日から15日まで石巻市に滞在し、東日本大震災に関する調査や学生との交流プログラムに参加。13日にはローレン・ベル政治学部教授が「友好の懸け橋」5年にわたるRMC・ISU間のパートナーシップ」と題した特別講演を行った。

講演は石巻専修大学創立30周年記念事業の一環で、学生、教職員、一般の方ら約50人が聴講した。ベル教授は東日本大震災の犠牲者で、両校の交流の懸け橋となったRMC卒業生のテイラー・アンダーソンさんの話をした後、5年目を迎えた活動を紹介。「学生、教員の交流を今後も継続したい。新たにスポーツを通じた交流を行うなど、さまざまな可能性がある」と話した。

一行は滞在中、市内の防災センター、消防署、警察署を訪問し、震災に関するアンケートを実施するなど、調査活動に取り組んだ。14日に行われた本学学生との交流会では、着物を着るなど日本文化を体験した。

明石安弘さん（人間1・山形県新庄北高）は「英語の教員を目指しているのに、メーコン大学の学生との交流を通して海外の文化を学んでいきたい」と話した。一行は滞在中、市内の防災センター、消防署、警察署を訪問し、震災に関するアンケートを実施するなど、調査活動に取り組んだ。14日に行われた本学学生との交流会では、着物を着るなど日本文化を体験した。

「多様性について改めて

山形県鶴岡中央高）は「カニやエビなどの内骨格を持たない生物の標本は初めて。完成した標本はオープンキャンパスで高校生に披露したい」と話した。

高崎教授は「キャンパス内に、人の影響を受けずに自然水系とつながった池があるのは本学ならでは。生物多様性や自然環境の調査に適した場所、今後も継続して調査し、研究に役立てたい」と話した。

調査の様子は東日本放送の同日夕方のニュース番組で放送された。

調査の様子は東日本放送の同日夕方のニュース番組で放送された。

調査の様子は東日本放送の同日夕方のニュース番組で放送された。

調査の様子は東日本放送の同日夕方のニュース番組で放送された。

調査の様子は東日本放送の同日夕方のニュース番組で放送された。

オープンキャンパス
7/28 SUN 8/3 SAT 4 SUN 25 SUN

【主なプログラム】

学科説明 入試説明会 個別相談コーナー
AO・推薦入試対策講座 学生スタッフ企画

【アクセス】

①仙台駅～大学間 無料チャーターバス（予約制）
②石巻駅～大学間 無料シャトルバス
③自家用車 ※学内に約800台の駐車場石巻専修大学入学試験係
☎ 0225-22-7717
✉ nyushi@isenshu-u.ac.jp

3人が優勝

いしのまき
復興マラソン

笑顔でラストスパートをかける庄司さん

2000人を超えるランナーが出場した第5回いしのまき復興マラソン（6月23日、石巻市）で女子競走部が実力を発揮。ハーフマラソンで庄司琴美さん（経営4・宮城県聖和学園高、10キロで千葉彩有花さん（人間2・宮城県常盤木学園高、5キロで齋藤凛さん（経営1・宮城県聖和学園高）の3人が優勝し、大学生がエントリー可能

な種目すべてを制した。5キロの部では上位5位までを独占した。1時間22分45秒の自己ベストを記録した庄司さんは「優勝できてうれし

る場であるが、文化資本は本人の努力なしに形成する考え方を直すきっかけとなった」と語った。